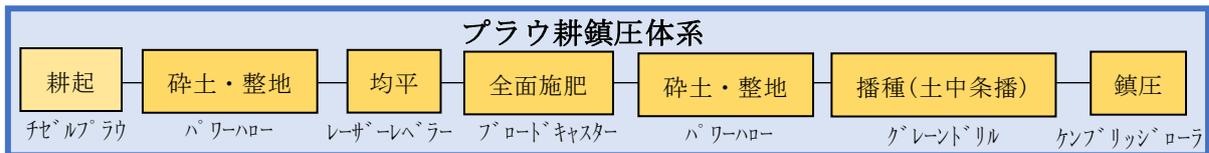


## 水稲乾田直播栽培(プラウ耕鎮圧体系)の生産技術体系データ

### 【概要】

#### 1 特徴

労働時間は移植体系と比較して 25.0%削減され(表1)、また、春季に移植体系との作業ピーク分散が可能です(図1)。一方、限界利益は種苗費・肥料費・農薬費が大きいため移植体系の80.4%に留まり(単収が乾直510kg/10a、移植540kg/10aの場合)、固定費は大型機械の利用により移植体系を6.4%上回ります(表2)。



#### 2 水田作経営(水稲、小麦、大豆)で乾直技術体系を導入する経営の試算例

乾田直播栽培導入を想定した経営では、慣行(水稲は移植のみ)と比較し、作付面積が概ね50ha以上で所得が慣行を上回りました(図2)。このように、大規模水田作経営においては、乾田直播技術を導入し、畑作物と機械を汎用利用することにより、限られた労働力での規模拡大・所得増大が期待されます。

### 【試験データ等】

表1 作業別労働時間 (時間/10a)

乾直		(参考)移植	
作業内容	時間	作業内容	時間
畦畔補修	0.12	畦畔補修	0.04
種子消毒	0.16	育苗	1.56
施肥	0.15	施肥	0.22
耕起・整地・均平	1.22	耕起・整地	1.04
播種・鎮圧	0.36	移植	1.33
病虫害防除	0.30	病虫害防除	0.19
除草	0.64	除草	0.39
灌排水	0.48	灌排水	0.57
収穫～出荷	2.55	収穫～出荷	2.63
計	5.97	計	7.96

(乾直計の時間削減率 25.0%)

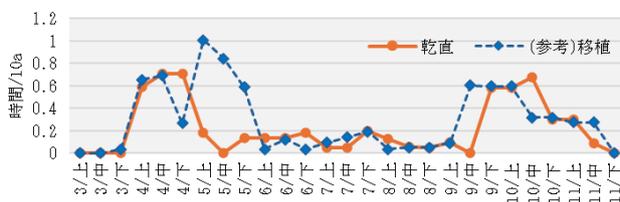


図1 旬別労働時間

表2 経費、限界利益 (円/10a)

	乾直	(参考)移植	(参考)乾直/移植
粗収益(A)	154,020	163,080	94.4
単収(kg/10a)	510	540	94.4
販売単価(円/kg)	302	302	100.0
変動費(B)	70,188	58,791	119.4
(うち種苗費)	3,264	2,113	154.5
(うち肥料費)	13,674	8,078	169.3
(うち農薬費)	19,997	10,059	198.8
限界利益(A-B)	83,832	104,289	80.4
固定費(減価償却費)	55,753	52,424	106.4

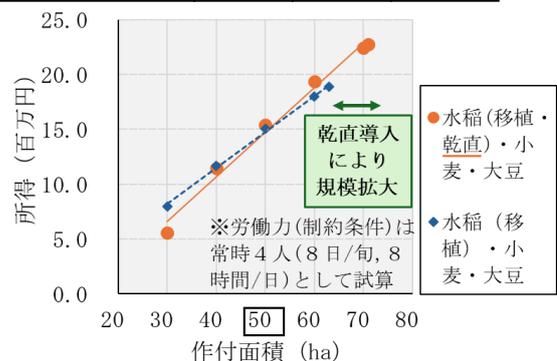


図2 面積に応じた所得最大化の試算例

【令和7年度成果】水稲乾田直播栽培(プラウ耕鎮圧体系)の生産技術体系データ(R7-指-01)